



## 2019年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月10日

上場会社名 アトラ株式会社 上場取引所

コード番号 6029

URL https://www.artra-group.co.jp/

者 代 表 問合せ先責任者

(役職名) 代表取締役社長CEO (役職名) 取締役CFO

(氏名) 久世 博之 (氏名) 田中 雅樹

(TEL) 06-6533-7622

定時株主総会開催予定日

2020年3月25日

配当支払開始予定日

有価証券報告書提出予定日

2020年3月26日

2020年3月26日

決算補足説明資料作成の有無

: 有 (機関投資家・アナリスト向け、個人投資家向け)

決算説明会開催の有無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年12月期の連結業績(2019年1月1日~2019年12月31日)

## (1)連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益	益			親会社株主に帰 当期純利	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期	2, 833	△18.6	25	△84. 7	31	△80.8	△146	-
2018年12月期	3, 479	_	164	_	163	_	269	-
(注) 包括利益	2019年12月期		142百万円(	<b>-%</b> )	2018年12月	期	271百万円(	<u>-%)</u>

潜在株式調整後 1株当たり 自己資本 総資産 売上高 1株当たり 当期純利益率 当期純利益 経常利益率 営業利益率 当期純利益 円銭 円銭 % 2019年12月期 △16.71 △7.6 0.7 0.9 2018年12月期 30.88 30.39 14. 4 4. 1 4. 7

(参考) 持分法投資損益 2019年12月期

2018年12月期

一百万円

一百万円

## (2) 連結財政状能

<u> </u>	*/D'			
	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期	4, 323	1, 837	42. 5	208. 95
2018年12月期	4, 491	2, 000	44. 5	228. 22
(参考) 自己資本	2019年12月期	1,836百万円 20	18年12月期 1,998百	万円

(2) 連結セレッシュ・フローの出口

<u> (3) 建桁ヤヤツ</u>	/ンユ・フローの仏流			
	営業活動による	投資活動による	財務活動による	現金及び現金同等物
	キャッシュ・フロー	キャッシュ・フロー	キャッシュ・フロー	期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年12月期	△147	△291	313	1, 362
2018年12月期	△143	149	415	1. 489

## 2 配当の状況

<b>と・此コツルル</b>										
			年間配当金	配当金総額 配当性向		純資産 配当率				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	(合計)	(連結)	(連結)		
	円銭	円銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%		
2018年12月期	_	0.00	_	3. 50	3. 50	30	11. 3	1. 6		
2019年12月期	_	0.00	_	3. 50	3. 50	30	_	1.6		
2020年12月期 (予想)	_	0. 00	-	3. 50	3. 50		3, 076. 4			

<sup>(</sup>注) 当社は2018年12月期より連結財務諸表を作成しているため、2018年12月期の対前期増減率については記載 しておりません。

## 3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

					701X13110X W	5 12 1 1 C V 1	1 - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	14) I C V J I	1 T 101 H 1 /01/10/10/10/10/10/10
	売上高		売上高 営業利益 経常利益		益	親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1, 408	△4. 1	△167	_	△167	_	△189	_	△21.50
通期	3, 171	11.9	42	66.7	42	33. 7	1	_	0.11

#### ※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 ② ①以外の会計方針の変更 無 ③ 会計上の見積りの変更 無 ④ 修正再表示 : 無

(3)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

2019年12月期	8, 790, 100株	2018年12月期	8, 759, 000株
2019年12月期	266株	2018年12月期	266株
2019年12月期	8, 778, 579株	2018年12月期	8, 739, 954株

- ※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理 かられている未順光通じずの行木に関する記述は、当社が現在パーじている情報及び日達 的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではあり ません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提と なる条件等については添付資料3ページ「1 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧くださ

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

- ・決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。
- ・当社は、2020年2月19日(水)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。・当社は、2020年3月19日(木)に個人投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

# ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況
(1)当期の経営成績の概況
(2)当期の財政状態の概況
(3)当期のキャッシュ・フローの概況
(4)今後の見通し
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方4
3. 連結財務諸表及び主な注記
(1)連結貸借対照表5
(2)連結損益計算書及び連結包括利益計算書7
(3)連結株主資本等変動計算書9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書
(5)連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
(セグメント情報)
(1株当たり情報)
(重要な後発事象)

## 1. 経営成績等の概況

#### (1) 当期の経営成績の概況

当社グループが属する鍼灸接骨院業界におきましては、柔道整復の療養費が減少傾向にあります。このような環境の下、自費施術の拡大が業界の課題となっております。また、2018年4月に柔道整復療養費の受領委任を取り扱う施術管理者の要件が改正され厳格化されたことにより、接骨院の開設が以前に比べ難しくなってきております。

このような状況の下、当社グループは、ほねつぎチェーンの加盟院の増加、自費施術に使用する機材の販売、アトラ請求サービスの会員の増加、HONEY-STYLEの利用院の増加、アトラストアにおける消耗品の販売に注力しました。

ほねつぎチェーンの加盟院数が増加したものの、接骨院の開設が以前に比べ難しくなった影響が大きく、機材販売が大きく減収となりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高が2,833,781千円(前連結会計年度比18.6%減)、営業利益が25,196 千円(前連結会計年度比84.7%減)、経常利益が31,411千円(前連結会計年度比80.8%減)、親会社株主に帰属する当期純損失が146,664千円(前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純利益が269,930千円)となりました。

当社グループは鍼灸接骨院支援事業の単一セグメントであるためセグメント別の記載はしておりませんが、支援 内容別の概要は以下のとおりであります。

#### ・ほねつぎチェーン

当連結会計年度末におけるほねつぎチェーンの加盟院は、既存の鍼灸接骨院による加盟を促す施策を講じた結果、前連結会計年度末に比べ37院増加し、127院となりました。

この結果、売上高は578,950千円(前連結会計年度比15.0%増)となりました。

#### ·機材、消耗品販売

療養費が減少傾向となる中、自費施術に使用する機材の需要は拡大しております。当社グループは、アトラアカデミー(2019年12月に「ほねつぎアカデミー」より名称変更)において動画チャンネルの充実を図り、自費施術の拡大をテーマとしたセミナーの集客に注力し、自費施術に使用する機材を販売しておりますが、柔道整復の施術管理者の要件が厳格化された影響が大きく、減収となりました。

また、鍼灸接骨院専門ECサイトであるアトラストアでは、自費施術に使用する機材に必要な消耗品や鍼など鍼灸接骨院で使用する消耗品の拡販に注力しております。

この結果、売上高は1,254,126千円(前連結会計年度比35.8%減)となりました。

#### アトラ請求サービス

新規開業院の入会等により、当連結会計年度末における会員は前連結会計年度末から31会員増加し、2,938会員となりました。また、療養費早期現金化サービス利用会員への貸付残高は前連結会計年度末から109,554千円減少し、675,923千円となりました。

この結果、売上高は495,367千円(前連結会計年度比16.8%増)となりました。

#### • HONEY-STYLE

鍼灸接骨院のロコミ/予約システムであるHONEY-STYLEは、利用院の増加に取り組みましたが、柔道整復の施術管理者の要件が厳格化された影響が大きく、当連結会計年度末における利用院は前連結会計年度末から41院減少し、567院となりました。なお、鍼灸接骨院の患者である会員は前連結会計年度末から35,080名増加し、403,144名となっております。

アトラアカデミーの会員は、前連結会計年度末に比べ2,081会員増加し、12,745会員となりました。 この結果、売上高は304,003千円(前連結会計年度比34.4%減)となりました。

#### 介護支援、その他

ほねつぎ介護デイサービスの既存加盟店のロイヤリティ収入の拡大等に努めました。また、直営店の売上高拡 大に注力しました。

この結果、売上高は201,332千円(前連結会計年度比49.2%増)となりました。

#### (2) 当期の財政状態の概況

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

#### (資産)

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ168,425千円減少し、4,323,379千円となりました。これは主に、商品が114,361千円及びソフトウエア仮勘定が100,380千円増加したものの、現金及び預金が126,527千円、売掛金が61,639千円及び営業貸付金が109,554千円減少したことによるものであります。

#### (負債)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ5,913千円減少し、2,485,721千円となりました。これは主に、短期借入金が500,000千円増加したものの、買掛金が52,345千円、未払法人税等が255,091千円、前受金が33,155千円及び長期借入金が141,671千円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ162,512千円減少し、1,837,657千円となりました。これは主に、資本金及び資本剰余金がそれぞれ5,381千円増加したものの、親会社株主に帰属する当期純損失を146,664千円計上し、剰余金の配当が30,655千円あったことによるものであります。

#### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ126,527 千円減少し、1,362,975千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な 内訳は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、147,687千円の支出(前連結会計年度比3.1%増)となりました。主な内訳は、資金の増加要因として、減価償却費の計上135,624千円、投資有価証券評価損の計上84,745千円、売上債権の減少50,115千円、営業貸付金の減少109,554千円、資金の減少要因として、税金等調整前当期純損失の計上63,121千円、たな卸資産の増加121,202千円、仕入債務の減少52,345千円、法人税等の支払307,907千円であります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、291,975千円の支出(前連結会計年度は149,529千円の収入)となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出47,636千円、無形固定資産の取得による支出130,847千円、投資有価証券の取得による支出137,396千円であります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、313,136千円の収入(前連結会計年度比24.6%減)となりました。主な内訳は、資金の増加要因として、短期借入金の純増加額500,000千円、資金の減少要因として、長期借入金の返済による支出155,004千円、配当金の支払額30,561千円であります。

## (4) 今後の見通し

2020年12月期につきましては、引き続き、療養費が減少傾向にある中、自費施術の拡大が接骨院業界全体の課題になると想定されます。また、柔道整復療養費の受領委任を取り扱う施術管理者の要件の厳格化について、若干の緩和傾向にあるものの、引き続きその影響は大きく、接骨院の開設が以前より厳しい状況が続くことが予想されます。

このような環境の下、当社グループは、自費施術を拡大することで、過度に療養費に依存しない接骨院の体制 構築に貢献してまいります。 ほねつぎチェーンは、2019年12月期に加盟院が100院を突破しましたが、2020年12月期も引き続き、自費施術の拡大をテーマに加盟院の増加に取り組んでまいります。

機材販売は、増加しているアトラアカデミーの会員向けに自費施術に関するセミナーを開催し、新規顧客の獲得に注力してまいります。

アトラ請求サービスは、当社が開発した療養費請求に使用するシステムA-COMSをリニューアルし、会員の増加に繋げてまいります。

HONEY-STYLEは、自費施術の拡大に貢献することで、利用院の増加に努めてまいります。

アトラストアは、当社オリジナル商品の拡販等に取り組み、登録院の増加、売上高の拡大に繋げてまいります。

ほねつぎ介護デイサービスは、直営の売上高を拡大するとともに、加盟店の増加に努めてまいります。

これらのことから、2020年12月期の売上高は3,171,000千円(前連結会計年度比11.9%増)、営業利益は42,000千円(前連結会計年度比66.7%増)、経常利益は42,000千円(前連結会計年度比33.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,000千円(前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失146,664千円)を予想しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準による連結決算を実施しており、連結財務諸表の期間比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

		(単位:千円
	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当連結会計年度 (2019年12月31日)
-    産の部		
流動資産		
現金及び預金	1, 489, 502	1, 362, 97
売掛金	338, 566	276, 92
営業貸付金	785, 477	675, 92
商品	373, 733	488, 09
仕掛品	1, 851	1,85
その他	87, 100	55, 62
貸倒引当金	$\triangle 1,504$	$\triangle 2$
流動資産合計	3, 074, 727	2, 861, 36
固定資産		· · ·
有形固定資産		
建物(純額)	180, 330	143, 68
工具、器具及び備品(純額)	59, 852	78, 53
土地	27, 152	27, 15
	610	4, 36
その他(純額)	16	27
有形固定資産合計	267, 961	254, 01
無形固定資産	201,001	201, 01
ソフトウエア	131, 476	90, 55
その他	101, 751	203, 63
無形固定資産合計	233, 228	294, 18
投資その他の資産	200, 220	234, 10
投資有価証券	784, 732	827, 16
長期貸付金	26, 474	31, 08
繰延税金資産	47, 518	10, 01
その他	111, 948	107, 47
貸倒引当金	△54, 786	$\triangle 61, 92$
投資その他の資産合計	915, 887	913, 83
固定資産合計	1, 417, 077	1, 462, 0
資産合計		
債の部	4, 491, 805	4, 323, 3
流動負債		
	116 799	CA 20
買掛金 短期借入金	116, 733	64, 38
	650, 000	1, 150, 00
1年内返済予定の長期借入金	155, 004	141, 67 45, 58
未払法人税等	300, 674	· ·
賞与引当金	21, 960	21, 42
ポイント引当金	31, 368	16, 77
資産除去債務	2, 329	600.00
収納代行預り金	602, 756	620, 03
その他	225, 698	179, 50
流動負債合計	2, 106, 525	2, 239, 40
固定負債		
長期借入金	294, 990	153, 3
繰延税金負債	9, 510	6, 73
退職給付に係る負債	21, 921	32, 99
資産除去債務	58, 688	49, 90
その他		3, 30
固定負債合計	385, 109	246, 32
負債合計	2, 491, 635	2, 485, 72

(単位:千円)

		(+ <u>1</u> - 1 - 1)
	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当連結会計年度 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	558, 376	563, 757
資本剰余金	584, 692	590, 073
利益剰余金	852, 220	674, 900
自己株式	△159	△159
株主資本合計	1, 995, 129	1, 828, 571
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3, 816	8, 086
その他の包括利益累計額合計	3, 816	8, 086
新株予約権	1, 224	1,000
純資産合計	2, 000, 169	1, 837, 657
負債純資産合計	4, 491, 805	4, 323, 379

# (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 連結損益計算書

		(単位:千円)
	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
売上高	3, 479, 200	2, 833, 781
売上原価	2, 279, 498	1, 879, 085
売上総利益	1, 199, 702	954, 695
販売費及び一般管理費	1, 035, 421	929, 498
営業利益	164, 280	25, 196
営業外収益		
受取利息	109	76
受取手数料	9, 530	9, 871
解約料収入	10, 188	2, 932
その他	2, 098	1, 569
営業外収益合計	21, 926	14, 450
営業外費用		
支払利息	4,810	4, 981
減価償却費	10, 921	978
投資事業組合運用損	5, 712	1, 281
貸倒引当金繰入額	_	194
その他	1,066	798
営業外費用合計	22, 509	8, 235
経常利益	163, 697	31, 411
特別利益		
固定資産売却益	3, 060	5
新株予約権戻入益	_	224
投資有価証券売却益	655, 900	-
特別利益合計	658, 960	229
特別損失		
減損損失	82, 148	7, 609
固定資産除却損	305	2, 406
投資有価証券評価損	115, 254	84, 745
訴訟費用	21, 050	_
特別損失合計	218, 758	94, 762
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失 (△)	603, 899	△63, 121
法人税、住民税及び事業税	351, 541	39, 611
過年度法人税等	<u>-</u>	12, 774
法人税等調整額	△17, 572	31, 157
法人税等合計	333, 968	83, 543
当期純利益又は当期純損失 (△)	269, 930	△146, 664
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	269, 930	△146, 664

## 連結包括利益計算書

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	269, 930	△146, 664
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1, 691	4, 269
その他の包括利益合計	1, 691	4, 269
包括利益	271, 622	△142, 394
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	271, 622	△142, 394

# (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)

(単位:千円)

			株主資本		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	556, 426	582, 742	612, 838	△159	1, 751, 848
当期変動額					
新株の発行					_
新株の発行 (新株予約権の行使)	1,949	1, 949			3, 899
剰余金の配当			△30, 549		△30, 549
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社 株主に帰属する当期純 損失(△)			269, 930		269, 930
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	1, 949	1, 949	239, 381	1	243, 280
当期末残高	558, 376	584, 692	852, 220	△159	1, 995, 129

	その他の包括利益累計額			
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	新株予約権	純資産合計
当期首残高	2, 125	2, 125	1, 228	1, 755, 202
当期変動額				
新株の発行				_
新株の発行 (新株予約権の行使)				3, 899
剰余金の配当				△30, 549
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社 株主に帰属する当期純 損失(△)				269, 930
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	1,691	1,691	△4	1,686
当期変動額合計	1,691	1,691	△4	244, 967
当期末残高	3, 816	3, 816	1, 224	2, 000, 169

# 当連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	558, 376	584, 692	852, 220	△159	1, 995, 129
当期変動額					
新株の発行	5, 339	5, 339			10, 678
新株の発行 (新株予約権の行使)	42	42			84
剰余金の配当			△30, 655		△30, 655
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社 株主に帰属する当期純 損失(△)			△146, 664		△146, 664
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	5, 381	5, 381	△177, 320	_	△166, 558
当期末残高	563, 757	590, 073	674, 900	△159	1, 828, 571

	その他の包括利益累計額				
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	新株予約権	純資産合計	
当期首残高	3, 816	3, 816	1, 224	2, 000, 169	
当期変動額					
新株の発行				10, 678	
新株の発行 (新株予約権の行使)				84	
剰余金の配当				△30, 655	
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社 株主に帰属する当期純 損失(△)				△146, 664	
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	4, 269	4, 269	△224	4, 045	
当期変動額合計	4, 269	4, 269	△224	△162, 512	
当期末残高	8, 086	8, 086	1,000	1, 837, 657	

# (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失 (△)	603, 899	△63, 121
減価償却費	119, 168	135, 624
投資有価証券評価損	115, 254	84, 745
減損損失	82, 148	7, 609
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4, 288	5, 661
投資有価証券売却損益(△は益)	△655, 900	_
賞与引当金の増減額 (△は減少)	21, 960	△540
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3, 432	11,076
ポイント引当金の増減額(△は減少)	16, 419	$\triangle 14,593$
固定資産売却益	△3, 060	$\triangle 5$
固定資産除却損	305	2, 406
受取利息	△109	△76
支払利息	4, 810	4, 981
売上債権の増減額(△は増加)	66, 456	50, 115
営業貸付金の増減額 (△は増加)	△192, 428	109, 554
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△108, 661	△121, 202
仕入債務の増減額 (△は減少)	△62, 130	△52, 345
収納代行預り金の増減額 (△は減少)	39, 346	17, 275
その他	$\triangle 44,592$	△11,832
小計	10, 608	165, 333
利息の受取額	109	76
利息の支払額	△4, 800	△5, 189
法人税等の支払額	△149, 207	△307, 907
営業活動によるキャッシュ・フロー	△143, 289	△147, 687
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△91, 213	△47, 636
有形固定資産の売却による収入	<u> </u>	4, 500
無形固定資産の取得による支出	△97, 943	△130, 847
投資有価証券の取得による支出	△581, 095	△137, 396
投資有価証券の売却による収入	906, 690	_
その他	13, 091	19, 404
投資活動によるキャッシュ・フロー	149, 529	△291, 975
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	250, 000	500,000
長期借入れによる収入	300, 000	_
長期借入金の返済による支出	△105, 004	△155, 004
新株予約権の行使による株式の発行による収入	3, 894	84
配当金の支払額	△30, 727	△30, 561
その他	△3, 138	△1, 382
財務活動によるキャッシュ・フロー	415, 025	313, 136
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	421, 265	△126, 527
現金及び現金同等物の期首残高	1, 068, 236	1, 489, 502
現金及び現金同等物の期末残高	1, 489, 502	1, 362, 975
	1, 403, 302	1, 502, 515

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

当社グループは単一セグメントであるため記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり純資産額	228. 22円	208.95円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	30.88円	△16.71円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	30.39円	一円

- (注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1 株当たり当期純損失であるため記載しておりません。
  - 2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	269, 930	△146, 664
普通株主に帰属しない金額(千円)	_	_
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	269, 930	△146, 664
普通株式の期中平均株式数(株)	8, 739, 954	8, 778, 579
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	_	_
普通株式増加数(株)	142, 297	_
(うち新株予約権(株))	(142, 297)	(-)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	_	_

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。